

# ステイホーム

シリーズ～福音の力～

2020/05/31 ペンテコステ

## ルカ福音書は「家」だらけ：癒し

- シモンの姑の癒し(4:38-39)
- 中風の人癒し(5:17-26)
  - 「家の中に入れてイエスの前に置こうとした」
- 百人隊長のしもべの癒し(7:1-10)
  - 「わたしはあなたを自分の屋根の下にお迎えできるような者ではありません」
- 悪霊の取りつかれたゲラサ人(8:26-39)
  - 「家に住まないで墓場を住まいとしていた」
- ヤイロの娘の癒し(8:46-56)
  - 「自分の家に来てくださるようにと願った」

## ルカ福音書は「家」だらけ：たとえ話

- **土台の重要性 (6:46-49)**
  - 「岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている」
- **見失った羊のたとえ (15:4-7)**
  - 「見つけたら、喜んでその羊を担いで、家に帰り～」
- **無くした銀貨のたとえ (15:8-10)**
  - 「家を掃き、見つけるまで念を入れて捜さない～」
- **放蕩息子のたとえ (15:11-32)**
  - 家を出て、ひどい目に遭い、再び家に帰る
  - 「兄は怒って家に入ろうとはせず～」
- **不正な管理人・ラザロと金持ち・ファリサイ派と徴税人の祈り**

# ルカ福音書は「家」だらけ：救いの場

- 弟子に召されたレビ(5:27-32)

- 「自分の家でイエスのために盛大な宴会を催した」

- 香油を注いだ女(7:36-50)

- 「泣きながらその足を涙でぬらし始め、自分の髪の毛でぬぐい、イエスの足に接吻して香油を塗った」
- 家に招いたときのもてなし

- ザイカイ(19:1-10)

- 「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」
- 「今日、救いがこの家を訪れた。」

## ルカ福音書は「家」だらけ：その他

- イエス様にとって神殿は「父の家」(2:41-52)
  - 「わたしが自分の父の家にいるのは…」
- 神殿は「祈りの家」と呼ばれる(19:46)
  - 「こう書いてある。『わたしの家は、祈りの家でなければならない。』」
- 宣教者は一箇所に留まる(9:4)
  - 「どこかの家に入ったら、そこにとどまって…」
- 悪霊の住みか(11:24-26)
  - 「自分よりも悪いほかの七つの霊を連れて来て、中に入り込んで、住み着く」

イエス様

癒し

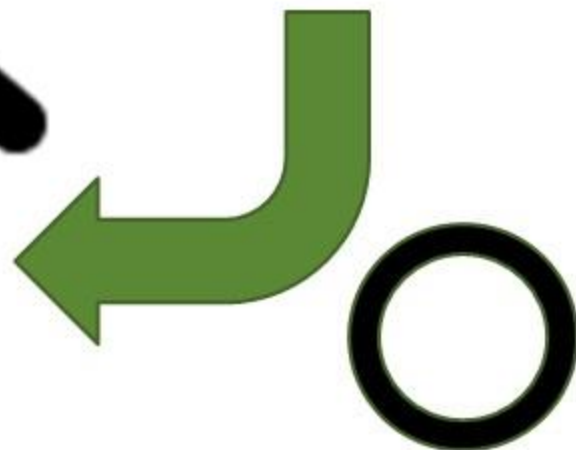
シモンの姑・中風の人・  
百人隊長のしもべ・  
ヤイロの娘

救い

レビ・香油を注いだ女・  
ザアカイ



- レギオン
- 見失った羊
- 放蕩息子



# 神の住まいとしての家

## 迎えてくれる所

不正な管理人・放蕩息子

## もてなし・宴会の場所

大宴会のたとえ・ラザロと金持ち・  
レビ・見失った羊・無くした銀貨・  
放蕩息子・ザアカイ

## 宣教すべき場所

中風の人・遣わされた弟子・  
レギオン・ラザロと金持ち

# 家＝教会

## 最後の晩餐

十字架の恵みにあずかる

## エマオの弟子たち

家に入り、イエス様がパンを裂かれた  
たとき目が開かれた

## 教会の誕生

弟子たちが集まっていたとき聖霊が  
降った

## 最初の教会

「家ごとに集まってパンを裂き、喜び  
と真心をもって一緒に食事をし」



# ステイホーム

- イエス様を家に迎えなかった人たちの失敗
  - ベツレヘム＝「パンの家」の意
- 神の家にカムホームしよう！
  - 「わたしが自分の父の家にいるのは当たり前」
- イエス様にステイホームしていただきよう！
  - 癒し・解放・救いが訪れる
- 仲間と共にステイホームを楽しもう！
  - 「友達や近所の女たちを呼び集めて、『無くした銀貨を見つけましたから、一緒に喜んでください』」
  - 「こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。」使徒2:47